



# あのとぎの常呂・写真館

VOL 29

(1952年)

昭和27年12月 常呂町ラジオ共同聴取放送局竣工



▶ 「常呂町農協50年史」から常呂町のラジオ放送の概要を紹介します。



●昭和25年1月、農協の発案で土佐地区をモデル地区としてラジオ共同聴取施設の設置したのが、農協の有線事業の始まりです。各戸が電柱1本を持ち寄り、1戸平均1,900円程度の負担で架設が完成、農協の当直室に親放送機を置き、1月8日に土佐地区42戸に第一声が送られました。●文化に飢えていた農家から好評で、全村に広めるべきという声があがり、昭和25年4月に常呂村ラジオ

共同聴取連絡協議会という加入者組織が組織され、全戸に普及しました。●NHKのラジオ放送を送信するほか、農業に関する情報・ローカルニュース・公共機関の広報周知・教育情報の提供など多面的な役割を果たしていました。●当初は農協の職員が担当していましたが、昭和25年7月に専属アナウンサーを採用し、独自に番組を編成して放送を始めました。●昭和27年12月に独立した放送所を設置し、通称「TRK」として町民全体に親しまれていました。●その後、有線放送に求められる機能がラジオの共同聴取から電話機能と告知機能へと移り、昭和38年の法律改正に伴い、昭和39年に自動式有線放送電話施設（一斉放送と加入者間の通話連絡）を建設、翌40年2月2日、道電波監理局から業務許可を得、4月1日業務を開始しました。（そのときの加入者は、組合員500戸、団体75戸、その他33戸の計608戸）＊「農協20年史」から

※ラジオ放送に関するできごとを年表にまとめました

昭和25年1月18日	土佐地区にラジオ放送開始
2月14日	東浜地区ラジオ共同聴取施設着工
3月19日	富丘地区ラジオ共同聴取施設完成
20日	岐阜地区ラジオ共同聴取施設完成
3月	吉野小学校ラジオ共同聴取施設設置
4月21日	常呂劇場から浪曲のラジオ生中継
23日	常呂村ラジオ共同聴取連絡協議会結成 ＊ラジオ共同聴取放送所開始
昭和27年12月31日	午後8時、町長が年末のあいさつを全町に放送
12月	常呂村ラジオ共同聴取施設落成（TRK）
昭和29年10月2日	常呂漁協ラジオ共同聴取事業開始（207戸）
昭和34年4月12日	常呂村ラジオ共同聴取放送10周年 ＊ラジオ受信者普及100%達成及び放送開始10周年記念行事としてNHK「ゆきげ祭り」（会場：常呂小）収録。
昭和35年3月1日	独自番組「この人をたずねて」に樺太アイヌ語話者：藤山ハルさん出演、お祝いの歌・ムックリ・トンコリ演奏



＊昭和37年

登小学校の児童が町内を社会見学したときの写真（右手にラジオ放送所）